

評価者	防災安全部長	服部 計利
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	防犯活動の充実・強化
目標とすべきまちの姿	市民の防犯意識は高く、積極的な地域防犯が図られています。地域防犯力の向上により、刑法犯認知件数は、引き続き減少傾向にあり、現在と同じく県内で最少の状況を保っています。また、犯罪が発生しにくい市街地の環境づくり等が進み、安全で安心して暮らすことができるまちづくりが推進されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	13.0%	平成30年度(2018年度)	12.9%	平成29年度(2017年度)	12.8%
	平成28年度(2016年度)	13.0%	平成27年度(2015年度)	12.0%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.8%	1.6%	0.5%
ちょうどよい	0.5%	53.3%	3.0%
効果不十分	1.4%	4.2%	16.3%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.8%	2.1%	0.7%
ちょうどよい	1.0%	53.9%	3.0%
効果不十分	1.2%	1.8%	17.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.9%	1.9%	0.0%
ちょうどよい	1.2%	54.7%	1.8%
効果不十分	1.1%	3.9%	16.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.1%	4.1%	0.4%
ちょうどよい	1.4%	56.3%	1.8%
効果不十分	1.2%	2.8%	13.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.9%	2.9%	0.1%
ちょうどよい	2.3%	57.2%	0.9%
効果不十分	1.9%	3.6%	11.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	29.9%	49.4%	2.1%	18.6%
平成30年度(2018年度)	29.6%	51.2%	1.7%	17.5%
平成29年度(2017年度)	27.2%	52.5%	1.6%	18.6%
平成28年度(2016年度)	25.6%	54.4%	2.1%	17.9%
平成27年度(2015年度)	23.9%	56.1%	2.0%	18.0%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ① 市民意識調査や市民からの直接的な意見から現在の取組みを継続しながら、新たな犯罪の手法について警察等との連携を強化し、市民及び地域の防犯団体等への情報提供、対策等の周知を図る。(防安-08)
- ② 鎌倉市犯罪のない安全安心まちづくり推進条例に規定される推進計画に「自らの安全は自ら守る。」「地域の安全は地域で守る。」の意識の高揚を図るための防犯教室等の周知を図る。(防安-08)
- ③ 市が管理する防犯灯の維持管理を行う。(防安-08)
- ④ 地域防犯カメラ設置補助事業の推進により、地域防犯力の向上を図る。(防安-08)
- ⑤ 市内における振り込め詐欺等特殊詐欺被害防止のための普及啓発を積極的に行う。(防安-08)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ① 警察等からの新たな犯罪手口を収集し、市民等へ情報提供することにより、防犯意識を高めることができる。(防安-08)
- ② 自主防犯団体や教育施設等で防犯教室を開催することで、地域が自助、共助の認識を高め、地域防犯力の向上に繋がる。(防安-08)
- ③、④ 市内の約9割のLED型防犯灯について維持管理を行うことや地域防犯カメラの設置に係る支援を行うことで、犯罪が発生しにくい市街地の環境づくりを促進することができる。(防安-08)
- ⑤ 特殊詐欺被害防止のための普及啓発を行うことで、安全で安心して暮らすことができるまちづくりが推進できる(防安-08)。

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
防安-08	安全・安心まちづくり推進事業	84,693	86,157	2.2	2.2	無	a	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

- ① 現在実施している取組みを継続しながら、新たな犯罪の手法について警察等との連携を強化して、市民及び地域の防犯団体等への情報提供、対策等の周知を行った。(防安-08)
- ② 鎌倉市犯罪のない安全安心まちづくり推進条例に基づいた推進計画である「鎌倉市安全・安心まちづくり推進プラン」の改定を実施した。改定にあたっては、鎌倉市安全安心まちづくり推進協議会を開催し、委員から指導・助言を得た。また、「自らの安全は自ら守る。」「地域の安全は地域で守る。」の自助、共助について意識の高揚を図るため、防犯教室等を開催した。(防安-08)
- ③ LED型防犯灯へ一斉転換した防犯灯の維持管理を実施した。(防安-08)
- ④ 地域防犯カメラ設置補助事業について自治町内会等への周知を行い、9自治町内会(13台)に補助金の交付を行った。(防安-08)
- ⑤ 特殊詐欺に対する主な取組みとして、これまで取り組んできたメールによる注意喚起情報の配信、青色回転灯付自動車による地域巡廻を実施するほか、市役所庁舎内における放送やDVD放映等による注意喚起、防災行政用無線による注意喚起放送、自治、町内会への注意喚起チラシの回覧、民生委員や地域包括支援センターなどを通じたチラシ配布等を行った。

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- ・防犯灯の維持管理をはじめ、実施した事業については、当初予算のとおり、適切な事業費・人件費で執行できた。よって、効率性については適切であったと評価した(防安-08)。
- ・令和元年度実施予定の事業は、市民要望等を含め、概ね実施できた。よって、妥当性については適切であったと評価した(防安-08)。
- ・地域防犯カメラ設置補助事業については、申し出があった全ての対象者に対して、補助金を交付することができた。よって、妥当性については適切であったと評価した(防安-08)。
- ・主な事業における人口1,000人あたりの刑法犯認知件数の実績値が減少傾向にあることから、適切な成果が得られたと考えられる。よって、有効性については適切であったと評価した(防安-08)。
- ・特殊詐欺に対する注意喚起について、チラシ等を被害に遭いやすい年齢層に対して集中的に配布する等した結果、防災安全情報メールの登録者数が例年の倍近い5,000人以上増加した。詐欺被害についても、減少傾向に転じており、有効性については適切であったと評価した(防安08)。
- ・市立・私立小学校、幼稚園・保育園等において防犯教室等を実施した。よって、公平性については適切であったと評価した(防安-08)。

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	防安-08	事業名	安全・安心まちづくり推進事業							
指標の内容	人口1,000人あたりの刑法犯認知件数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
人口1,000人あたりの刑法犯認知件数を下げることにより、防犯施策の評価になる。目標値は年度毎に再設定し、件数の更なる減少に向けて取り組むものとする。	目標値	5.0	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5			
	実績値	5.3	4.4	4.1	4.1	4.7	3.8			
	達成率	94.3%	111.4%	117.1%	114.6%	97.9%	118.4%			

整理番号	防安-08	事業名	安全・安心まちづくり推進事業							
指標の内容	防犯カメラ設置補助台数					単位	台	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
防犯カメラ設置に対する補助の達成率を上げることにより、抑止効果が期待される。目標値は、年度毎の増設目標で、予算規模と間接補助となる県費補助金額を踏まえて設置している。	目標値	-	-	-	20.0	20.0	20.0			
	実績値	-	-	-	17.0	14.0	13.0			
	達成率	-	-	-	85.0%	70.0%	65.0%			